

M サポ利用登録団体活動状況アンケート
調査結果報告

令和3年10月22日

前橋市市民活動支援センター

Mサポ利用登録団体活動状況アンケート調査結果報告

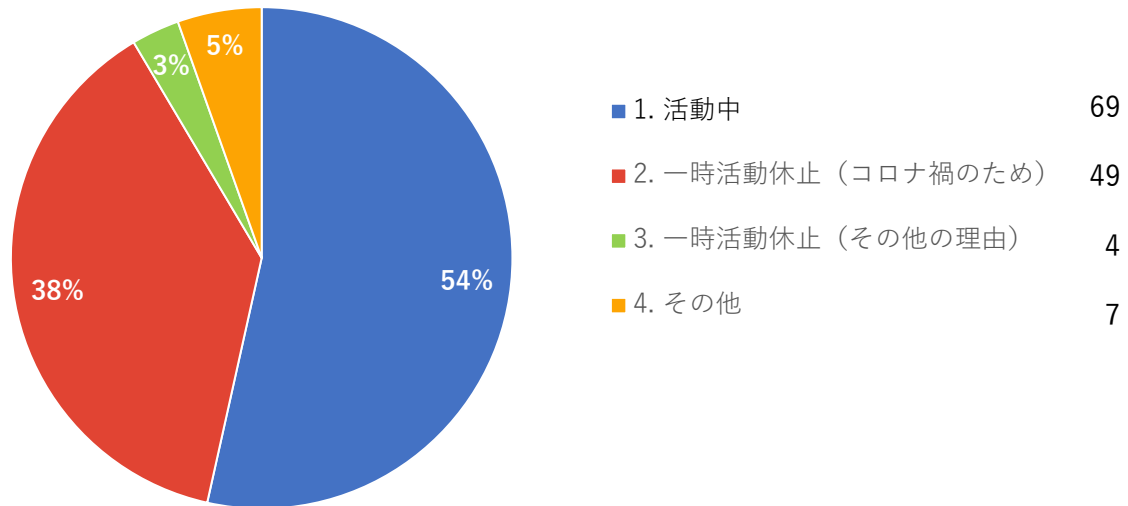
【調査概要】

- (1) 目的 Mサポ利用登録団体活動状況アンケートは、登録事項の更新、団体活動の状況、活動上の課題、要望等を伺うことにより、今後の市民活動の支援や、当センターの運営、事業に活かすために実施。
- (2) 調査期間 令和3年6月16日～8月31日
- (3) 調査対象者 Mサポ利用登録団体（343団体）
- (4) 調査方法 郵送、メールによる配布、回収（FAX含む）
- (5) 回収状況 回収数 129票
回収率 37.6%
- ※回答数内訳
- | | |
|--------------------|----|
| ・ 郵送・窓口（回答用紙） | 71 |
| ・ WEB（Google フォーム） | 56 |
| ・ FAX | 2 |
- (6) 調査項目 Q1. 現在の活動状況について
Q2. 現在取り組んでいること、取組みを考えていることについて
Q3. ボランティアの受け入れについて
Q4. 現在の活動内容
Q5. 具体的な活動の課題について
Q6. 会員数の増加や人材確保の方法として、今後取り組んでみたいこと
Q7. 現在、活動を行う上で最もお困りのこと
Q8. Mサポで「現在利用している」「今後利用したい」サービスについて
Q9. 県警戒度4の場合は、貸室、印刷機等の休止の取扱いについて
Q10. 前橋市市民活動支援センターへのご意見
- (7) 実施主体 前橋市市民活動支援センター（Mサポ）

【調査結果】

Q1. 現在の活動状況についてお聞きします。当てはまるものに☑をつけてください。

現在の活動状況として、コロナ禍でも半数以上が「活動中」54%で、次に「一時活動休止（コロナ禍のため）」が38%でした。「その他」では、活動終了、話し合い中などがありました。



Q2. 現在取り組んでいること、取組みを考えていることについて

①目的達成のための団体独自の取組み（一部抜粋）

日本語教室、外国人相談窓口、外国語講座、ホストファミリー活動、国際理解講座／勉強会及びスポーツ大会／キャリアコンサルティング／オンライン子育て支援事業／宿泊を含めた合宿／交流会・座談会・ワークショップ等／食品ロスを減らす活動／動画作成／来年のイベント準備／高齢者が引きこもりにならないための交流事業／片づけ講座／病気を抱える患者同士の交流、サポート／地域の居場所づくり／住宅相談／活動履歴の整理まとめ／まち歩き／コミュニケーション講座／公民館利用でのこども食堂、勉強支援、読み聞かせ、学習型イベント／結婚を前向きに考える独身男女のサポート／防災マップづくり／はがき・未使用切手・テレホンカードなどの寄付仲間を増やす／入所・通所施設運営

②コロナ禍での取組み（一部抜粋）

コロナ禍での取組みで挙げられたものとしては「オンライン」に関するものが最も多かったです。オンライン対応が難しい団体も、人数や活動場所、活動内容の変更を行うことで、活動を継続しようと模索していることがアンケートの回答からも伝わってきました。

オンライン、Zoom、リモートを活用（20）／3密回避、感染対策（9）／集まらない工夫（活動場所や内容の変更等）（8）／少人数で活動（5）／活動場所・活動内容の変更（4）／SNS、メールの活用（4）／動画作成（3）／コロナ収束後の体制づくり（2）／電話相談・ビデオレターの活用／ドライブスルーでランチや食材を配布／絵本の寄贈準備／コロナを科学的に学ぶ

③他団体や企業、行政等との協働、連携、支援の取組み （一部抜粋）

約4分の3が何らかの協働、連携、支援に取り組んでいます。一方、「コロナの影響もあり、新しい企業への働き掛けなどが難しい」「チャンスを探している」団体もありました。

【他団体】市民活動団体等との連携、協力(6)／県内の公共交通をテーマに活動している団体との連携(3)／フリースクールへの訪問鑑賞会／災害時での応急危険度判定／前橋市スポーツ協会加盟団体／こども食堂ネットワークぐんま、群馬子どもの権利委員会／関係機関と連携した依存症治療プログラム開発・提供／他地域（北毛・中毛・西毛）における協働団体との連携

【企業】テレビ・ラジオ局への協力／電気自動車の電源を使い、アンプ等を用いる事によって、各地で電源の心配なく演奏ができる／製薬会社との協働で市民公開講座を開催／親子キャンプ／イエローシート／まちなかキャンパス等への講師派遣／企業等との縫製を伴う就労支援

【行政】

前橋市：(13)外国人相談窓口の運営／公園管理事務所／保健所／赤城山ツーリズム事業／まえばし人形劇フェスタ／防災キャンプ、合同防災訓練／前橋市教育委員会

群馬県：(3)「群馬の文化」支援事業／年1回各県内の小中高への学校にカード配布

他市：藤岡市・渋川市・安中市・伊勢崎市との協働による猫のTNR、多頭飼育崩壊対応

【その他】前橋市社会福祉協議会(2)／大胡作業所／前橋工科大学臼井研究室／前橋商工会議所／地域の自治会／観光協会／地域包括支援センター、居宅介護支援事業所

④その他 （一部抜粋）

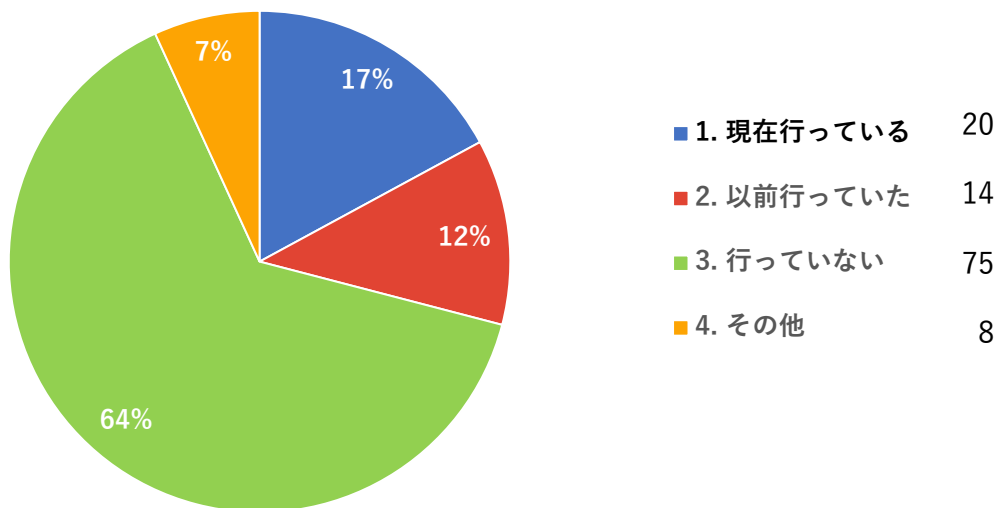
コロナ禍で工夫しながら活動を続けている団体と、活動を休止している団体の二極化がますます進んでいるように見受けられます。

「ぐんまの里山自然体験」を実施／コロナ収束後に向けて連絡を取り合っている／保育園にて保育士向け研修／県や市の出前講座を活用／活動内容の活性化について話し合い／今後民間企業へ積極的にアプローチしていく計画／人的交流に努めて行く／現在休止中／コロナ禍が解消されない限り、ボランティア（老人施設・慰問）を行なうことは困難／コロナ禍のため活動中止

Q3. ボランティアの受け入れについてお聞かせください。

① ボランティアの受け入れを行っていますか。

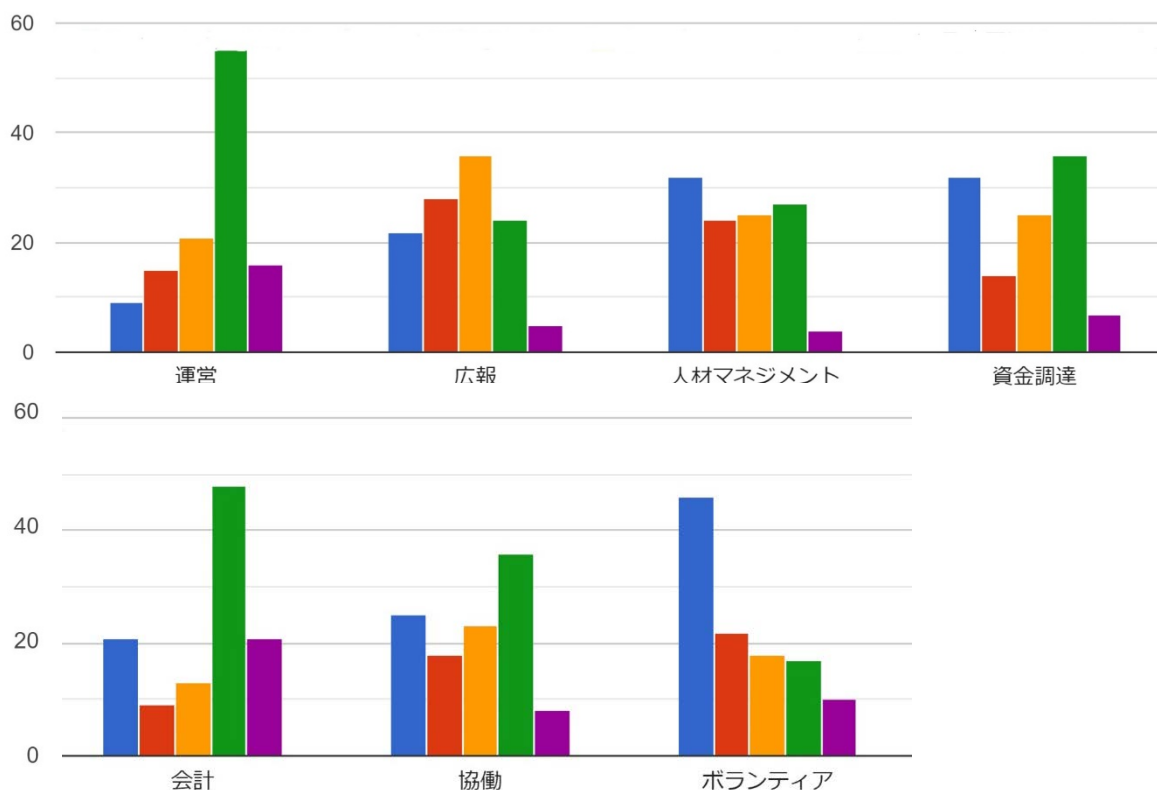
ボランティアの受け入れを「現在行っている」団体は17%で、コロナ禍でもボランティアの受け入れを行っている団体が比較的多く、「以前行っていた」「その他」でも、「コロナ禍が終息すれば募集する」が多く見られました。なお、ボランティアの受け入れの詳細は、Mサポホームページに掲載予定です。



Q4. 現在の活動内容で、当てはまるものにをつけてください。

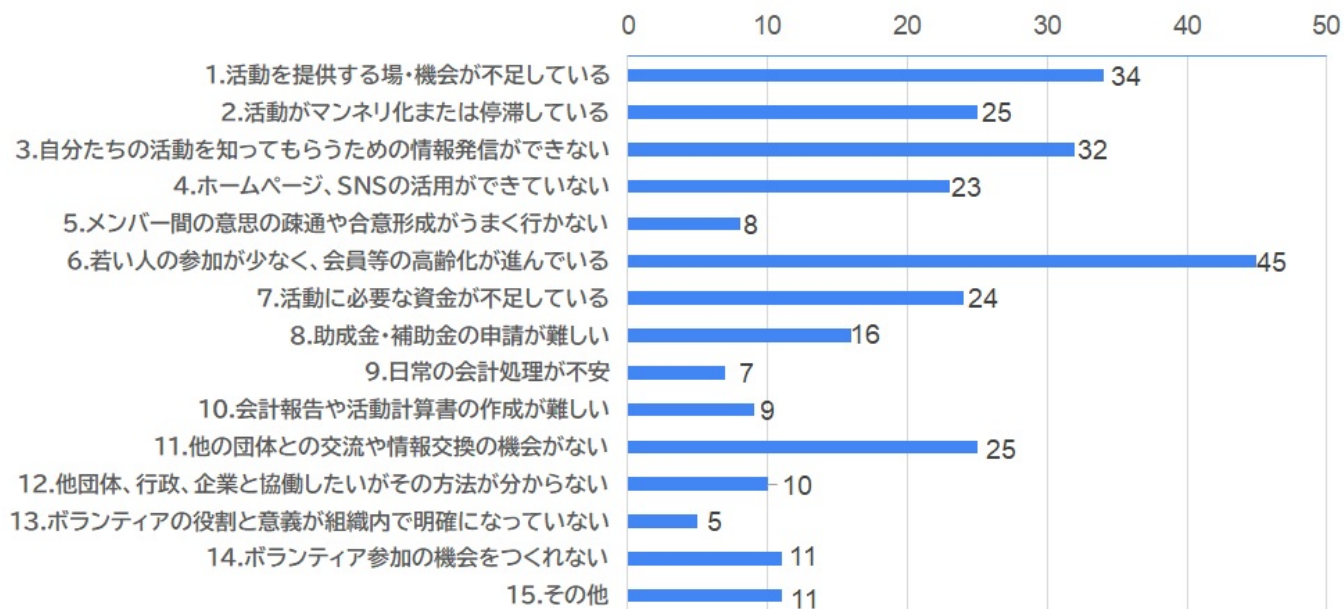
現在の活動として「できている」の上位は、「運営」57、「会計」49、「資金調達」38で、「できていない」では、「広報」24、「人材マネジメント」22、「ボランティア」21が上位でした。

0: 必要としていない 1: できていない 2: 少しできている 3: できている 4: よくできている



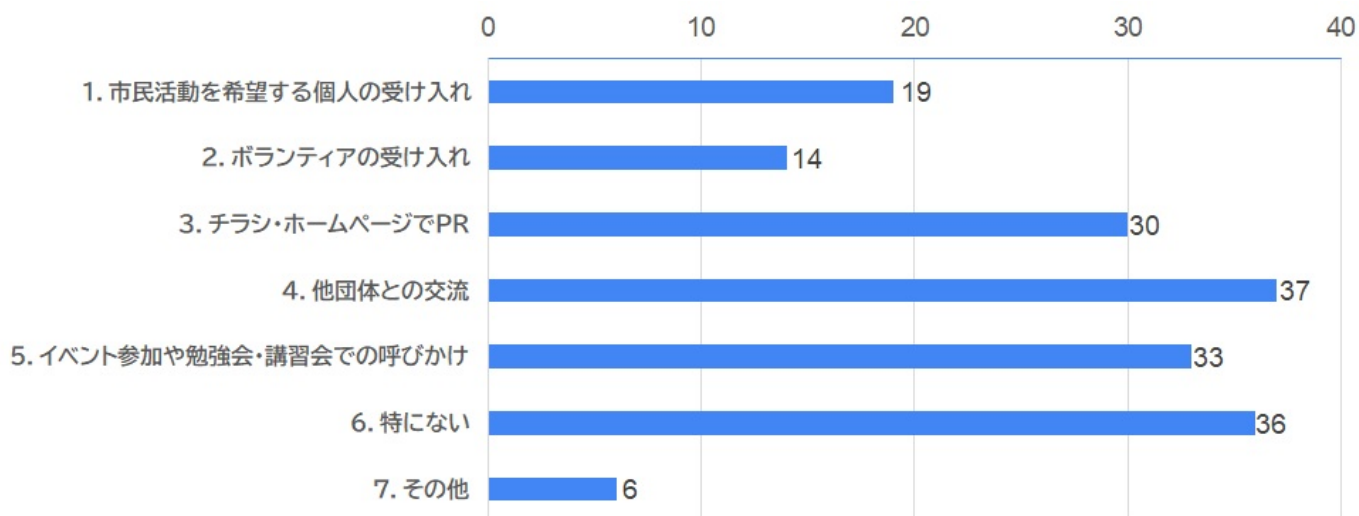
Q 5. 具体的な活動の課題について、当てはまるものにをつけてください。

「会員の高齢化が進んでいる」が45と一番多く、次に「活動を提供する場・機会が不足」34、「情報発信ができない」が32となり、人材、運営、広報の課題が多くみられます。



Q 6. 会員数の増加や人材確保の方法として、今後取り組んでみたいことはありますか。当てはまるものにをつけてください。

人材確保の取り組みとして、「他団体との交流」が37、「特にない」が36、「イベント参加や講習会での呼びかけ」が33、「チラシ・ホームページでPR」が30でした。



Q7. 現在、活動を行う上で最もお困りのことをお答えください。（一部抜粋）

約4割がコロナの影響による困りごとを挙げています。コロナ以外では、人材に関する困りごとが回答の2割ありました。

【コロナ】

- ・コロナの影響で、活動ができない（19）
- ・コロナ禍での活動場所の確保できない（10）
- ・印刷機の使用ができない。他の公民館の印刷機を借用
- ・入所施設を運営しているので、コロナ禍で全員の行動制限を徹底し感染予防を継続するストレスがみんな溜まっている

【人】

- ・会員等の高齢化と減少（9）
- ・後継者・人材育成（7）
- ・参加者の一定数の確保
- ・会の存在意義、役割に関する主要メンバー間の考え方の違い
- ・ボランティアは沢山いるが、統括してまとめられるスタッフがない
- ・実際に動ける（運営等に関して）スタッフが少なく、できる人に負担が集中しているため上手くまわっていかない。スタッフも少なく、協力を呼びかけてもスタッフのなりてが少なくマンパワー不足は顕著

【資金】

- ・資金不足（4）

【運営】

- ・活動のマンネリ化（2）
- ・新しい活動の仕組み創り
- ・実際の活動や行動が伴わない
- ・運営を軌道にのせるために四苦八苦

【協働・連携】

- ・学校機関との横展開
- ・行政からの講座依頼がない
- ・行政によって意識が違う為、同じような案件でも話が進んだり、進まなかったりという違いが大きい

【広報】

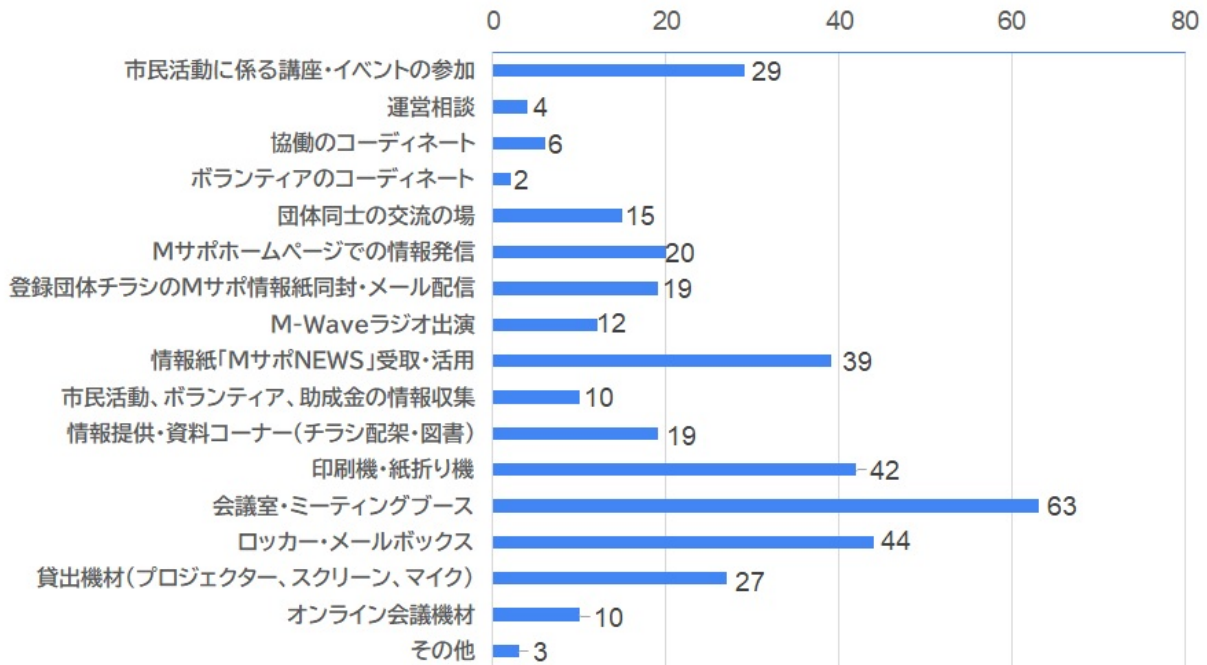
- ・自団体の活動を広く市民に周知すること
- ・情報発信の場（チラシやリーフレットを置いて頂ける場）が少ない

【ボランティア】

- ・ボランティアの多数が仕事を抱えているので、年間数回ある継続研修や振り返り研修への参加が難しい

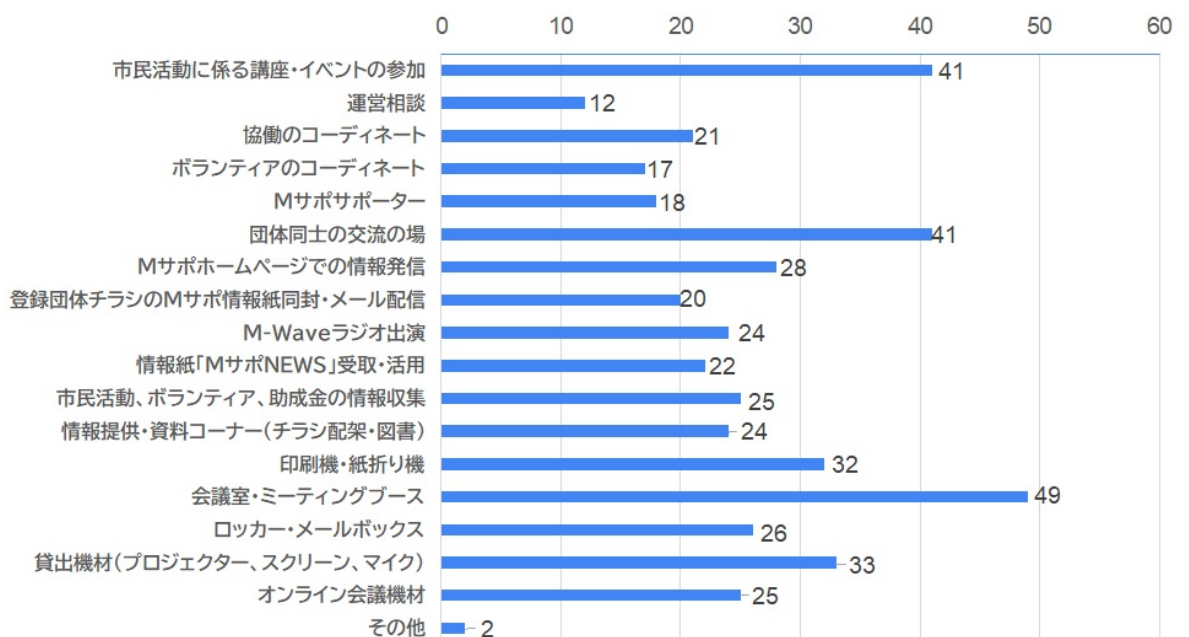
Q8. ①前橋市市民活動支援センターで「現在利用している」サービスについて、当てはまるものをすべて☑でお答えください。

「会議室・ミーティングブース」63、「ロッカー・メールボックス」44、「印刷機・紙折り機」42と貸出施設の利用が上位を占めました。



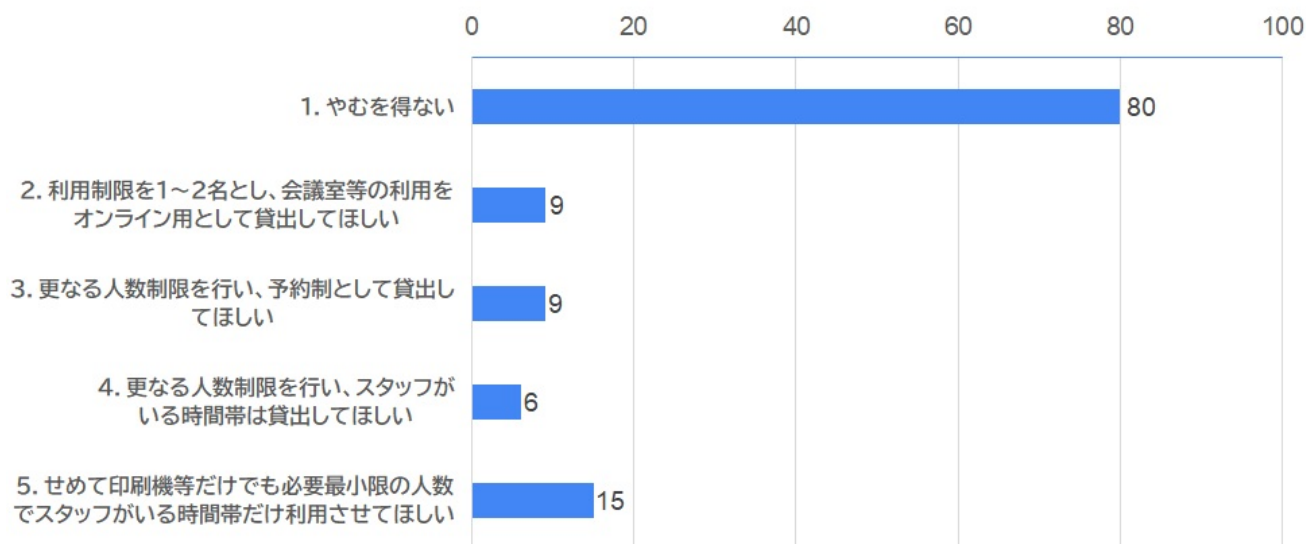
Q8. ②前橋市市民活動支援センターで「今後利用したい」サービスについて、当てはまるものをすべて☑でお答えください。

Q8①の現在利用しているサービスと比較すると、「ボランティアのコーディネート」「協働のコーディネート」「運営相談」「団体同士の交流の場」「オンライン会議機材」が多く、新規事業の「Mサポサポーター」への関心の高さも感じました。



Q9. 県が策定する警戒度が4の場合は、会議室・ミーティングブース、印刷機等の利用を休止しております。最も近い考え方について☑を1つ付けてください。

「やむを得ない」の回答が80と最も多く、次に「印刷機を必要最小限の人数で利用させてほしい」が15、「利用制限を1～2名とし会議室をオンライン用として貸出してほしい」、「人数制限を行い予約制として貸出してほしい」が9でした。



Q10. 前橋市市民活動支援センターへのご意見をお聞かせください。(一部抜粋)

【会議室・ミーティングブース・印刷機等】

- ・利用制限を2～3名とし、会議室を利用させてほしい
- ・活動する場所、会の資金不足のため、ミーティングブースやロッカー、機材の貸し出し、印刷機を使わせていただいているおかげで少ない財政の中でもなんとか運営できている
- ・多くの来場者が有り、駐車場の空きが無い為、ミーティングブースを使用することが少なくなった
- ・人数制限があり、10名では入り切らないこともあるので、会議室がもっと広くなると良い
- ・高崎市は警戒度4の場合でも、工夫させ会議室等を利用させているとのこと。人数制限等、いろいろと工夫させて、利用させられる、センターとしての役割を期待

【オンライン・SNS・IT】

- ・ZOOM等のテレワークも活用して積極的に取組んでほしい
- ・IT時代に対応した情報発信・サポート体制の構築
(SMS・LINEに必要なスキルアップのための助言体制)
- ・登録団体へのオンライン普及活動を積極的に行いオンラインでのつながりも持てるようにする

【セミナー】

- ・対面でのイベントが可能になった際は、活動資金調達の講座などに参加したい
- ・Mサポ主催で「支え合いのまちづくり」のテーマなどで講座を開催して頂きたい

【対応】

- ・コロナが収まり以前の様な活動が可能になったら速やかに知らせていただきたい
- ・警戒度が3になったので、相談したい
- ・登録団体に対し、「会員証」(的なもの)を発行してほしい
- ・コロナ収束したらスタッフと意見や情報聴取
- ・with コロナで前進し、以前に比べて深まったり広がったりする支援の工夫を

【広報】

- ・来年5月に情報誌に掲載および M-Wave ラジオ出演希望
- ・いつも広報誌を書面・メールにて送っていただき感謝
- ・ポスター等展示等の機会をいただけたら

【その他】

- ・いつも親切な対応ありがとうございます。(9)
- ・非常に協力的に動いていただき元気をもらっています
- ・長きにわたってたくさんの情報を提示いただき感謝
- ・他団体の交流の場をつくっていただき、感謝
- ・活動を支えてくださる有難い所
- ・適切なアドバイスをもらい、役立っている
- ・いつも暖かい笑顔と支援に感謝しています
- ・前橋市市民活動支援センターがあることで助かったことが、何度もありました
- ・今までのままで、十分
- ・今後とも関係性を継続させて頂きたい
- ・本当になによりもたよりになります
- ・いつも丁寧に対応して頂き感謝
- ・大変な時期ですが、センターの職員の皆様が平常時と同様、丁寧な対応をしてくださり、感謝
- ・コロナ禍終息に向けて、少しずつ前向きに活動していきたい
- ・with コロナでの新しいやり方で、市民を巻き込み、どんどんと活性化させていきましょう！！
- ・活動当時は大変お世話になりました。感謝しかありません
- ・ここ1年ばかりコロナ自粛の為、活動停止だったので顔も出さず申し訳ないと心苦しく思っています
- ・今まではイベントの参加、講座には参加していませんでしたが、これから少しずつでも利用していきたい
- ・再開した時には是非利用したい
- ・御世話になるばかりで、コロナの中で清掃活動にも協力出来ていない
- ・不安定な状況で施設運営等大変だと思いますが、がんばって下さい
- ・素晴らしい他の団体の活動等が知れたら有難く刺激になると思います。(今まで同封していただいたチラシもいつも参考にしています)
- ・コロナ禍の為、個々の活動も自粛して自由に動くことができませんが、これからの事を考える良いチャンスだと思います